

議案第70号関連資料

朝霧小学校の児童数増加に伴う放課後児童クラブの対応について

朝霧小学校の児童数が増加し、来年度以降は教室が不足することが見込まれるため、2024年度中に、現在放課後児童クラブで活用している教室をもとに戻すとともに、放課後児童クラブのプレハブ棟を新設したいと考えています。つきましては、プレハブ棟新設に要する費用を補正予算として計上するものです。

1 朝霧小学校の現状及び児童数等の予測

使用可能教室は35教室ありますが、2024年度は普通教室及び特別支援教室で30教室を使用し、残りの5教室については、放課後児童クラブとコミセン事務室として使用しています。来年度以降、児童数増加に伴う必要教室数の増加が見込まれており、ピークとなる2027年度には、児童クラブ等を除いた必要教室数だけで使用可能教室と同数の35学級となる見込みです。

(1) 小学校児童数、学級数の予測(児童数:人、学級数:クラス)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級		総計	
	児童数	学級数	児童数計	学級数計	児童総数	学級総数										
2024年度	141	5	125	4	138	4	132	4	136	4	133	4	23	5	828	30
2025年度	147	5	143	5	127	4	140	4	134	4	138	4	24	6	853	32
2026年度	140	5	149	5	145	5	129	4	142	5	136	4	25	6	866	34
2027年度	131	5	143	5	151	5	148	5	131	4	144	5	25	6	873	35
2028年度	123	5	133	4	145	5	153	5	150	5	133	4	27	6	864	34

(2) 放課後児童クラブ利用者数の予測

年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
利用児童数	193人	203人	207人	205人	199人
受入枠	220人	160人	120人	120人	120人

※2025年度はクラブ室1室と兼用の多目的室の一部を普通教室等に転用(△60人)

※2026年度は兼用の多目的室を普通教室に転用(△40人)

2 今後の対応について

(1) 教室不足解消に向けた考え方

児童数が減少に転じるまでの間の教室不足を解消するため、特別支援学級1教室を半教室ずつに間仕切りをする背割りで対応するなど、小学校の余裕教室を最大限活用する方策を検討しました。しかしながら、2027年度には放課後児童クラブ等を除いた必要教室数だけで使用可能教室が埋まってしまう上、学年によっては転入生等で児童数が1名増となるだけで1クラス増となってしまうこともあり得ます。最大限の対策を講じて、来年度には放課後児童クラブの受入枠が40人以上不足するため、来年度に備えて今年度中にプレハブ校舎の建設に着手する必要があります。

(2) プレハブ増築費用

2教室2階建(全4教室) 5年リースで補正予算額 166,320 千円(月額 2,772 千円)

うち財源として補助対象経費の2/3は国県補助金

(3) 今後のスケジュール

2024年 9月補正予算審議

10月 公告・入札

11月 契約

2025年 3月完成予定